

シルクロードの要所ウズベキスタンから 未来ある人材を日本へ誘う

—群馬県の日本語学校が青少年への日本語学習の普及に取り組む—

【概要】

国際協力機構（JICA）は、「中小企業・SDGs ビジネス支援事業」において、群馬県前橋市の学校法人 NIPPON ACADEMY が提案する「ウズベキスタンに於ける学校 11 年生（留学資格者）を対象とする日本語教育サンプリング調査事業（仮称）」を採択しました。

同法人は、独自教材を用いた教育でウズベキスタン労働省直轄の職業訓練校施設内に 15 もの日本語教室を設置しているほか、同国の名門大学「世界経済外交大学」の日本研究センターにも協力しています。今回の調査では、日本語が 11 年生（日本の高校 3 年生に相当）での選択科目にできるか調査し、早期に日本渡航を目指す若者を掘り起こしてゆく可能性を探ります。

【トピックス】

○2021 年 10 月の JICA 東京高崎分室の開設後、県内で 2 件目の本事業採択案件。

* 2022 年度の「中小企業・SDGs ビジネス支援事業」では、全国で 59 件（ニーズ確認調査は 23 件）の提案が採択されている。

○同法人は、昨年 10 月に JICA が高崎市と共催した外国人材雇用入門セミナーにて、ウズベキスタンでの日本語教育の現状を講演。

○昨年度採択された日本蚕糸絹業開発協同組合（高崎市）による提案事業から 2 期続けて群馬県企業によるウズベキスタンでの事業提案となった。

【ウズベキスタンについて】

○旧ソ連共和国の一つ。面積は日本の約 1.2 倍。中央アジア最大となる 3,400 万人を超える人口を誇り、サマルカンドの美しい街並みでも有名。ピラミッド型の人口構成となっており、毎年 60 万～80 万人の若者が社会人となっている。

○高い就学率や産業基盤がソ連時代のレガシーとして残っている。一方で、2016 年からの現政権は国際社会との連携を重視しながら力強い経済政策に打って出ており、コロナ禍においてもプラス成長を続けている。

○戦後の日本人抑留者が完成させたタシケント市のナボイ劇場（当時はソ連）は、1966 年に発生した直下型地震で街が壊滅状態になったときも倒壊せず、避難所としての役割も果たした。これらのエピソードから日本人の勤勉さや技術力を高く評価しており、とても親日的である。

○2019 年、特定技能および技能実習に係る協力覚書を締結した。

【関連リンク】

ニュースリリース

https://www.jica.go.jp/press/2022/20230220_41.html

中小企業・SDGs ビジネス支援事業各スキーム概要:

https://www.jica.go.jp/priv_partner/activities/index.html

JICA東京:

<https://www.jica.go.jp/tokyo/index.html>

JICA東京高崎分室:

<https://www.jica.go.jp/tokyo/office/takasaki.html>

【本件に関するお問い合わせ先】

JICA 東京高崎分室 TEL:027-388-8023

土屋 TEL:080-1021-3149 Mail:Tsuchiya.Shohei@jica.go.jp

高橋 TEL:080-7106-9859 Mail:Takahashi.Masayuki@jica.go.jp